



高大連携事業への取り組み

～広島工大を知る～

広島工業大学高等学校
教諭 田中正信

はじめに

広島工業大学高等学校(以下、工大高)からは、毎年多くの生徒が指定校制推薦入学試験(学園内推薦入学)を受験して広島工業大学(以下、広島工大)に進学していきます。

普通科になる前の工業高校時代は、各科で3ヶ年通して上位1/3以内の成績、もしくは、3年次に上位1/4以内の成績であることが受験資格でしたが、普通科になってからは、評定平均値を基準とした受験資格に変わりました。

また、各学科に推薦できるのは、各学科定員の1割を上限としております。指定校制推薦入学試験(学園内推薦入学)で第1志望学科を受験できない生徒もいるため、第2志望学科、第3志望学科を十分に調べ、確かな将来設計を考える必要があります。

広島工大を知る

工大高では、入学した時から夏休み期間中に行われる広島工大のオープンキャンパスへの参加を推奨しています。キャリア教育の一環として、上級学校を知る意味もあり、毎年多くの生徒が参加しています。

特に3年生は、受験する学科を絞る必要があるだけでなく、指定校制推薦入学試験(学園内推薦入学)を利用する生徒は、大学へ提出する「志望理由書」を書くためにも、しっかりと広島工大を見て、体験し、正しく、「広島工大を知る」必要があります。

教職員も毎年2回行われている広島工大のオープンキャンパスのいづれ

かには必ず参加し、「広島工大を知る」ようにしています。

勤務年数の長い教職員は、ほぼすべての学科をすでに見て回っており、それを進路指導に役立てています。勿論、今の技術進歩を考えますと、何年も前に見学した学科は技術内容等が変わっていることもあり、毎年参加する意義は大きいと感じています。

以前の高大連携事業

「広島工大を知る」という意味からも、これまでも広島工大の教員が大学全般の説明をし、各学科の説明をブース形式で行うこともありました。広報参事の方に来ていただいて説明していただいたこともありました。また、教員間、すなわち、広島工大の教員と、工大高の教員が教科で連携を取ったこともありました。しかしながら、いずれも長くは続かず、単発的に終わってしまっており、試行錯誤の連続でした。

工大高のオープンスクールは年に3回実施していますが、第1回と第3回は工大高で行い、第2回は8月の広島工大が実施するオープンキャンパスに合わせて広島工大で行っています。

ここ数年、本校で実施する第1回と第3回では大学と広島工業大学専門学校のエリアを設け、中学生やその保護者の皆さんにも見ていただいています。

最近の高大連携事業

昨年度から、工大高の玉田前校長が学園の参与に就任したことで、一気に高大連携が加速しました。

大学側、高校側から高大連携のメンバーが集まり、昨年度は8回会議を行いました。今年度は毎月会議を行い、両校にとって良いものを作り上げるべく努力しているところです。

昨年度は、その会議から提案されたもので実施したものがありません。それは、11月に実施した高校2年生を対象とした広島工大の説明会です。全体説明のあと、全12学科と女子学生キャリアデザインセンターのブースのうち、全員が5か所に行き、説明を受けました。1か所あたり10分と短くはありましたが、これまで広島工大進学を考えていなかった生徒も、魅力を知ったことで、現在は広島工大進学を目指しています。



2年生全員が「理工系の学び」について説明を受ける

さて、今年度はといいますと、昨年度行った2年生対象の説明会はずすでに6月に実施したほか、新たに2つの新規連携事業を行いました。



それぞれの学科で、理工系の学びについて説明を受ける

一つ目は、指定校制推薦入学試験(学園内推薦入学)を利用することができる3年生HITコースの生徒を対象に、5月下旬から6月上旬にかけて、4回広島工大の教育内容や各学科の説明をはじめ、実際に広島工大へ通っている大学生からの話しも聞きました。



3年生HITコース各学科の説明を視聴覚室で受ける

2年生、3年生ともこの時期に行ったのは、説明会で聞いたことや知ったこ

とをオープンキャンパスにつなげて欲しかったからです。興味が湧いた学科、気になる学科を実際に見て、体験することができるので、大学生の生の声も聞くことができるからです。

二つ目は、食品生命科学科の実習体験を7月に大学の新しい建物で行ったことです。これには通信制課程からも2人が参加し、合計25人が2つのテーマに分かれて体験しました。学年で偏ることもなく、女子生徒も6人が参加しました。3年生の中には、食品生命科学科に入学して学びたいという意思が更に強くなり、「頑張っ勉強し、必ず合格します」と誓ってくれた生徒もいました。また、日頃触ることのない実験器具も使い、感動の一日になったようでした。



食品生命科学科実習体験 食品からDNAを抽出させる

おわりに

食品生命科学科の実習体験に参加した生徒の中に、「工大に進学し

たいために工大高に入学しました」という生徒がいました。これだけの推薦入学者数の学校は県内にはないだけに、高校進学を考える際、広島工大への進学を見すえたくて工大高に入学をしたという生徒は多いと思います。



食品生命科学科実習体験 イチゴの糖度を調べる

大学につなぐということは、種まきのような地道な作業に他なりません。しかしながら、その種が大学4年間で、また、社会人となったときに大きな花を咲かせ、大木となっていくことは間違いないと確信しています。

生徒たちが夢と希望をもって大学に入学し、有意義な4年間となるよう、更に高大連携を密にしていきたいと考えています。